



専攻別体験事業（担当：重松）

教員を目指す大学生のための

教材開発・実践サークルにおける体験活動(仮称)

理科教員にとって授業内で活用する教材の開発並びに作製技術のスキルアップは重要な課題の一つである。本活動においては、皆さんには踏み込みにくい1分野、特に物理分野に関する教材作製・実践を行います。教員が主たる指導は行いますが、皆さんで考えながら、お互いが向上できる組織作りを行います。なお、大学講義とは全く関係ありません。ゆえに発展的内容となります。

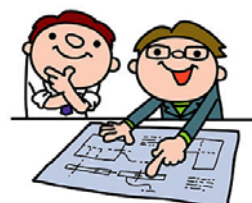
主たる目的

1. 教材開発能力の向上

（設計能力・工具の使用技術等 指導を行います。）

2. 実践能力の向上

（開発した教材を用いた実践指導を行います。）



日程：不定期

（各人の活動度によって異なります。テーマを複数本立てますので、どれかに参加してください。**来るもの拒まず、去るもの追わず形式です。**）

サブグループごとの活動と全体会の並立を予定しています。

なお、活動内容は専攻別体験にカウントします。

具体的な実践案

1. 太陽光発電システムの設計・製作

比較的大型なものを作成します。将来、各教育現場でも製作・管理できるまで指導します。

2. 電磁気をテーマとした教材

3. エネルギー環境をテーマとした教材

展開としては ○全く新しい教材及び実践の開発

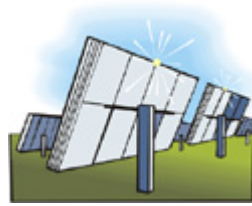
○既存の教材や商品を活用した（分解・改良）新教材の開発と実践

○既に公開されている教材の活用（そのまま利用）

来年度「びびっと広場」にてクラブとして参加予定。

連絡先 重松まで

全体会を定期的を開催します。お互いの連絡はメールにて行います。



お願い

活動にはお金がかかります。原則、学生さんにその費用は求めません。しかし、作製した教材は原則、大学所有の共有物として扱うことをお許しいただきたい。活用されなければ意味はありませんので、HPで公開し、多くの方に利用してもらうことを基本にします。皆さんには製作技術や活用のソフト面の指導と考えて欲しいです。

活動内容に関してHPで公開することの許可をいただきたい。

2008年2月26日に行うこと

1. 名簿作成（氏名と mail address）
2. 今後の計画
3. サークル名の決定（考える）

長期での実践計画

1. びびっと広場
2. 依頼出前講義

重松が主で行い、お手伝い的な参加の場合及び学生主体の実施も考えています。本当にやる気があるのであれば県外にも連れて行きます。

